

# 近年の那珂川における洪水状況

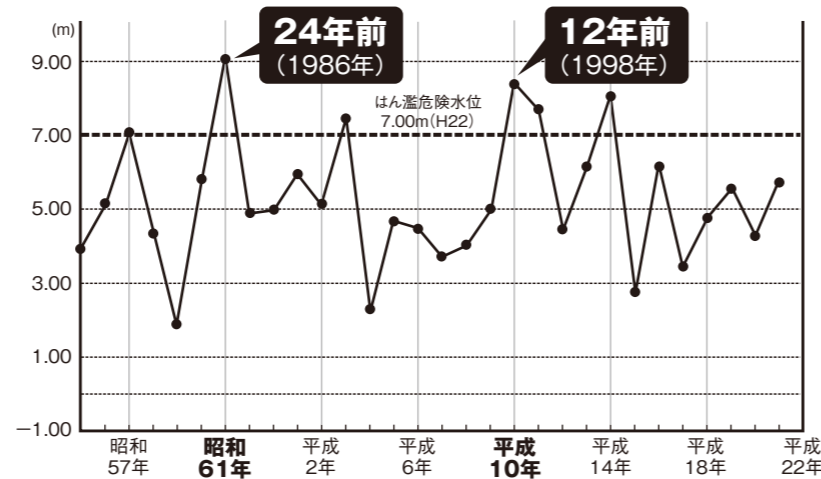
右のページも  
あわせてご覧ください。

今年に入り、広島や岐阜などで記録的な豪雨による被害が発生しています。関東地方でも、7月5日東京都板橋区、北区などにおいて局地的な豪雨による中小河川のはん濫によって、道路の冠水、床上、床下浸水が発生しています。

近年、那珂川では昭和61年、平成10年に大きな洪水が発生し、沿川に甚大な被害をもたらしました。今年が平成10年の洪水から12年、昭和61年から24年になります。台風の襲来により、いつ同様の洪水が来てもおかしくありません。「災害は忘れたころにやってくる」とよく言われます。水害への備えがきちんとできているか、いま一度見直してみましょう。

■那珂川の年最高水位の変化

観測所名：水府橋



## 洪水の記憶① 昭和61年 台風10号

昭和61年8月4日から5日にかけて、台風10号による豪雨は、県下全域に甚大な被害をもたらしました。

カスリーン台風(昭和22年9月)の総降雨量と同じ313mm(大田原雨量観測所)の大雨をおよそ1日で降らせたこの台風の影響により、那珂川では水府橋水位観測所で過去最高水位の9.15mを観測し、水戸市内や那珂湊市(現:ひたちなか市)で約4,200haが浸水しました。また、浸水被害を受けた家屋の数は床上2,860戸、床下720戸の計3,580戸にものぼりました。

## 洪水の記憶② 平成10年 台風4号

平成10年8月26日から30日にかけて東日本に接近した台風4号は、北関東地域、特に栃木県と福島県を中心とする地域で記録的な豪雨をもたらし、大沢雨量観測所では総雨量1,091mmという記録的な大雨となりました。

特に、水戸市を中心とした那珂川の堤防未整備地区や低い土地では甚大な被害が発生し、浸水面積は約1,726haに及び、浸水家屋は床上436戸、床下575戸の計1,011戸にも達しました。この洪水では、28日14時に水府橋水位観測所で戦後3番目となるピーク水位8.43mを記録したあと、一旦4m以下に下がった水位が30日20時30分に8.20mまで上昇したため、被害が一層拡大することとなりました。

※昭和61年、平成10年ともに浸水面積は国管理区間のみ

### 昭和61年洪水の被災住民の声

「……自分の部屋のことに気付いていった。もうすでにたたみが浮かんでいた。必死で机の上へのせられるだけ荷物を置いた。けれども、後から後から押しよせる水には、何の役にも立たなかった。急いでお母さんたちと、バッグにサイフや預金通帳を押し込み外に逃げようとした。しかし、すでに僕の首のあたりまでできていて、背のびしなけりばならないほどだった。その冷たさといったら、思わず心ぞうが止まってしまうかと思うほどだった」。

(水戸二中1年(当時)男子生徒の記録)

## 出水対応について

国土交通省では、河川の水位や流域の雨量データをもとに水位予測を行い、水防警報や気象庁と共同で洪水予報の発表を行っています。これらの情報を利用して、水防管理団体(市町村、水防事務組合等)は河川巡視や土のう積みなどの水防活動を実施します。

被災時に地域の復旧の役割を担っているのは地域の建設会社です。常陸河川国道事務所では、河川管理施設(堤防や水門など)が被災した時に建設機械や資材、労力の確保により災害の拡大防止、早期復旧を目指すために建設会社と災害時における応急復旧に関する協定を締結しています。

### 【協定会社一覧(茨城県内)】

長山工業(株)、(株)高野工務店、(株)鶴田組、高橋建設工業(株)、トキワ建設(株)、昭和建設(株)、菅原建設(株)、(株)八木組、橋本建設(株)、(株)田口工務店、増子建設(株)、(株)瀧工務店、河北開発(株)、(株)井坂組、(株)根本工務所、常陸建設(株)、(株)梅原工務店、鈴縫工業(株)、小林建設(株)

(順不同・平成22年8月現在)



平成3年8月洪水 水戸市根本町水防活動状況



昭和61年8月の那珂川水府橋付近



平成10年8月の那珂川水府橋付近



平常時の那珂川水府橋付近(平成21年3月撮影)



左のページも  
あわせてご覧ください。

# 洪水の被害を最小限にとどめるために

## ■洪水ハザードマップの活用を

洪水ハザードマップとは、洪水の際に住民の皆様が速やか、かつ円滑に避難するために浸水が予想される区域や想定される浸水深、避難場所、避難経路等の情報を分かりやすくした地図です。河川管理者(国や県)の洪水はん濫計算をもとに各市町村が作成しています。

住まいや職場など、日頃自分がいる場所は洪水はん濫等によるような浸水被害を受けるのかを事前に把握し準備しておけば、いざという時に冷静な行動をとることができます。洪水ハザードマップは、各市町村から各世帯へ配布したりインターネットにより入手できますので、災害時はもちろん平常時からご確認ください。

## ■普段の心がけ〈避難場所の確認〉

災害から身を守っていくためには、一人ひとりが災害に対して関心を持ち、いざという時に備えて日頃から準備をしていることが大切です。避難場所や経路の確認など、私たちにできることから始めましょう。

## ■緊急時の心がけ〈速やかな避難〉

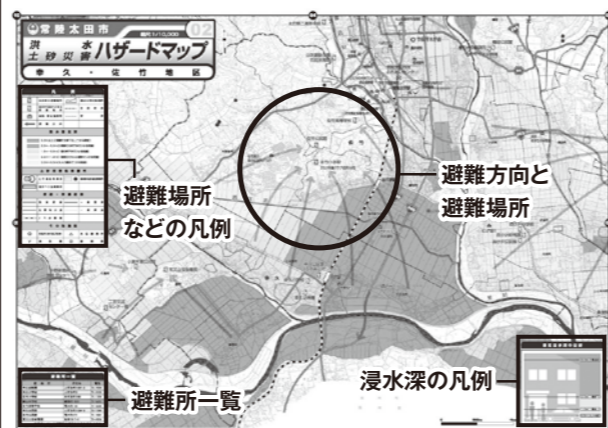
雨の降り方によっては、川の水位が急激に増えることもあります。警戒警報、避難命令などには速やかに従いましょう。また、避難する時には2人以上で、高齢者や子供を優先し、必要最低限のものだけを持ち出すことを心がけましょう。

## 河川情報の提供先リスト

- ◆那珂川・久慈川のリアルタイム雨量・水位情報 <http://www.ktr.mlit.go.jp/hitachi/kasen/kasen-data/uryou/index.htm>
- ◆常陸河川国道事務所テレホンサービス(雨量・水位情報) 那珂川・久慈川 TEL:0294-73-0531
- ◆携帯電話による雨量・水位情報 <http://i.river.go.jp>



## ■洪水ハザードマップに記載されている主な情報 (裏面にも各種情報が記載されています)



洪水ハザードマップ: 常陸太田市提供

## あなたのまちのハザードマップはここからチェック

国土交通省では、全国のハザードマップ公表状況を確認できるポータルサイトを運営しています。地図のなかから、自分の住むまちを選択すると、各市町村のハザードマップのサイトのページを開覧することができます(ホームページ上で洪水ハザードマップを公開している自治体のみ)。

【国土交通省ハザードマップ公開サイト】  
<http://www1.gsi.go.jp/geowww/disapotal/index.html>

ハザードマップ 検索

## 常陸河川国道事務所の取り組み

久慈川・那珂川において洪水による被害から地域を守り、地域の方々が安全、安心な川として親しめるよう堤防整備、河川管理や水防活動支援など様々な業務を行っています。

### ●日常の維持管理

堤防に亀裂や陥没がないか、水門・樋管のゲートがきちんと開閉できるかなど洪水時に支障がないよう健全な状態を保つために維持管理をしています。

- 堤防除草、修繕業務 ●河川巡視 ●河川構造物保守点検
- 水位・雨量の観測 ●観測施設の保守点検、データの常時監視

### ●出水時の備え

水防管理団体(市町村、水防事務組合等)とともに合同巡視や水防工法、指導など様々な形で水防活動の支援を行っています。

- 水防訓練 ●堤防点検の実施
- 合同巡視での危険箇所の周知 ●水防資機材の備蓄

### ●出水時の対応

出水時には、本川から支川への逆流を防ぐために、水門などの操作や出水状況を巡視したり、水位予測に基づく洪水予報、水防警報の発表を行うとともに災害対策用機械(災害対策車、照明車や排水ポンプ車など)の派遣等により水防活動の支援を行います。

- 水位予測 ●洪水予報、水防警報の発表 ●水門や樋管の操作
- 排水ポンプ車の派遣や資機材の提供



堤防の異常(亀裂、陥没等)の早期発見や強度維持のため、堤防除草を行います



沿川自治体とともに水防訓練を実施しています(平成22年久慈川水系連合水防訓練の様子)



平成16年久慈川水系玉川での排水ポンプ車作業状況

国土交通省 関東地方整備局 常陸河川国道事務所

〒310-0851 茨城県水戸市千波町1962-2  
TEL.029-240-4061  
<http://www.ktr.mlit.go.jp/hitachi/>